

## 2 個別事業評価調書

団体名： 向日市

事業名		「竹の径」保全整備事業				
事業の概要		<p>「竹の径」は、竹枝を束ねた「竹穂垣」や古墳をイメージした「古墳垣」などオリジナルな竹垣を含め、6種類の竹垣が整然と連なる総延長1.8kmにおよぶ竹林道である。整備以来、多くの観光客が訪れるなど本市の代表的な観光スポットとして定着してきているが、整備後5年以上が経過し老朽化が激しいことから、「竹の径」の景観保全を図るため、保全整備工事を実施した。</p>				
	事業期間	平成20年度				
	総事業費	1,995千円	本年度事業費	1,995千円	交付金交付額	1,000千円
事業評価	事業の必要性	<p>「竹の径」は本市の代表的な観光スポットとして、多くの市民や観光客に親しまれているが、竹垣であることから老朽化による傷みが激しく、継続的な保全整備工事を実施し、美しい景観を維持していく必要がある。</p>				
	事業の有効性	<p>本事業を実施することにより、「竹の径」だけでなく、他の観光資源への集客増や商業振興など地域の活性化につながる期待できる。</p>				
	事業の効率性	<p>本事業は、観光振興につながるほか、放置竹林対策や不法投棄予防などの環境整備事業としても効果的である。</p>				
	具体的な成果	<p>1 府と市町村等との連携に資する成果 平成20年11月に「竹の径」が京都府の景観資産に登録された。</p>				
		<p>2 住民の自治意識を高める成果 貴重な観光資源として、竹垣や竹林の美しい景観を維持していこうという意識が高まっており、周辺竹林への不法投棄も減っている。また、「竹の径」をコースに取り入れたウォークイベントなど民間団体等の企画運営も年々増えており、自治意識の高揚につながっている。</p>				
		<p>3 リーディング・モデル成果</p>				
<p>4 広域的波及成果 「竹の径」から周辺の洛西竹林公園や長岡京市、大山崎町を訪れる観光客も増えており、広域的な観光振興につながっている。</p>						
<p>5 行財政改革に資する成果</p>						
<p>6 その他の成果 平成13年度に国土交通省「手づくり郷土賞」を受賞し、平成14年度には読売新聞社「全国遊歩100選」、さらに平成16年度に日本ウォーキング協会「美しい日本の歩きたくなる道500選」に選定された。</p>						

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。